

平成29年度 北海道小学校長会  
第4回理事研修会

道小教育研究宗谷・稚内大会報告

道小教育研究宗谷・稚内大会事務局長 大島 朗  
2017. 12. 18



宗谷・稚内大会実行委員会事務局長の大島から報告をする。大会では、理事の皆様、事務局幹事・役員の皆様、特に研修部の皆様には大変お世話になった。おかげさまで期待数通りの570名の参加者で、大きな混乱もなく、第60回という記念する大会を無事終了することができた。心より感謝申し上げます。10月4日に引継ぎをさせていただいた。

本大会は、宗谷校長会 小中校長56名の総力を結集して「宗谷・稚内らしい『人のあたたかさ・つながり』を大切にした準備・運営を行ってきた。大会アトラクションでは「南中ソーラン」の発表をし、参加者から「素晴らしかった」「感動した」という感想が多数寄せられた。

分科会の運営については、徒歩で移動できることでゆとりをもって時間設定をすることができた。稚内ではめずらしい暑さも加わり、どの分科会も熱く協議が深まったのではないかと思います。

講演会は、参加者の皆様から高い評価をいただいた。その後も「川島先生を講演に呼びたい」という問い合わせもあり、北海道の子どもたちの課題解決に迫る講演会になったのではないかと考えている。

参加した皆様から、たくさんの感想をいただいた。膨大なページ数になるので、大会評価だけを掲載した。概ね肯定的な評価をいただいた。

今年の漢字は「北」であった。理由の多くがあまり良いイメージではなかったが、本大会については、日本のでっぺんである最北の稚内から子どもたちが輝く未来に向かって新たな発信が皆様と共にできたのではないかと考えている。

来年度の全連小北海道大会（函館市）では研究の継続と充実が図られ、大きな成功を収めることをご祈念申し上げ、報告とする。ありがとうございました。